

# 創造的な復興へ

## 宮城県政策紹介シリーズ③



### 復興の花を咲かせよう!

# 社会全体で子育てを応援

全国的に少子化が進行しています。宮城県も2005年に出生数が初めて2万人を下回り、その後も年々減少しています。合計特殊出生率(1人の女性が一生の間に生む子どもの数)も、2002年以降は全国平均を下回っています。

県民の誰もが安心して結婚・妊娠・出産・子育てを行うことができるように、県は子どもを育てながら働き続けられる保育サービスの充実、出産・子育てに係る経済的負担の軽減、結婚を望む独身者への出会いの機会提供などに取り組んでいます。



## 結婚希望者の出会いを支援

晩婚化や未婚化対策の一つとして、出会いの機会の提供など結婚希望者への支援を2016年度から行っています。

「みやぎ青年婚活サポートセンター」では、会員登録制のパートナー紹介や各種結婚相談を行っています。

結婚支援ポータルサイト「み・ち・び・き みやぎ」では市町村や各種団体が開催する婚活のイベントやパーティーの開催情報などを掲載しています。

**みやぎ青年婚活サポートセンター**  
仙台市宮城野区幸町4-5-1 (一般財団法人宮城県青年会館内)

- 入会資格: 結婚を誠実に希望される20歳以上49歳までの独身の方。初婚、再婚は問いません。
- 諸費用(1年コース): 入会金15,000円(男女共) お見合い費用1,000円 成婚料はいただきます。

**みやぎ結婚支援ポータルサイト**  
検索 み・ち・び・き みやぎ

## 育児と仕事の両立を下支え



大和工場敷地内にある「ゆいゆい保育園みやぎ」

「ゆいゆい保育園みやぎ」は、トヨタ自動車東日本が2017年9月、宮城大和工場(大和町)敷地内に開設した「ゆいゆい保育園みやぎ」では0~4歳児29人を受け入れている。

「異動者が多いので、慣れない土地でも安心して子育てできる環境を整えることが、当初から課題でした。宮城に進出した時から東北を盛り上げた」と考え、人口増加にも貢献したいと思ってきました」と倉山善一人事部長は語る。

国が16年4月に始めた企業主導型の保育所整備に名乗りを上げ、助成事業の採択を受けた。近隣に立地する企業に協賛を呼び掛け、17社がパートナー企業に名を連ねた。近隣住民の子どもも受け入れ、地域の待機児童問題の解消にも一役買う。

「保育所の設置、運営に関するノウハウがなかったため、チームで議論を重ねて開設に備えました。県や町村にアドバイスを支援をいただき、多くの力で作り上げた保育所です。施設は鉄骨平屋で、延べ床面積約500平方メートル。認可保育所並みの水準で整備された。0歳入学期前の幼児40人が定員。保育時間は工場の多様な勤務形態に合わせ、平日と祝日の午前5時半~午後9時、病児保育一時預かりも行う。

「勤務カレンダーに合わせた運営なので、従業員からおおむね好評です。働いている場所の近くに子どもがいるのは安心です。食育に配慮した給食も喜ばれています。工場敷地内で育つ子どもとの存在は、職場に癒やしの効果も与えている。ようば、行事に関わるなどして保育所を支えようという姿勢が従業員にも見えてきた。

「育児と仕事の両立支援に向け、制度の見直しなど、さらに働き方改革を進めていきたいです」

## 待機児童の解消に向けて

子どもを預けて働きたいというニーズは増加し、宮城県内の待機児童数は、2017年4月現在で790人となっています。こうしたニーズに対応するため、保育施設の整備と保育士確保の両面を取り組みを行っています。

保育施設の整備については、国の補助制度に加え、県が補助を上乗せし、保育所や事業所内保育施設の整備を推進しています。17年度は、延べ約50カ所の保育施設の整備を支援する見込みです。

保育士確保については、保育士を目指す学生への修学資金の貸し付けにより保育士の養成を図るとともに、就職相談や求人施設との雇用条件の調整などを行う保育士人材バンクシステムを整備し、保育士の就職支援に力を入れています。

## 子育て家庭の経済的負担を軽減

少子化の一因とされている出産・子育ての経済的負担や不安の軽減を図るため、県内の金融機関と連携し、優遇的な金利設定により融資を行う「みやぎ子育て世帯支援総合融資『みやぎつこ応援ローン』」を今年度から実施しています。

「みやぎつこ応援ローン」の概要

- 対象: 県内に在住する「子育て世帯(妊娠中も含む)」
- 融資額: 最大500万円(子ども1人あたり200万円)
- 出資: 教育など子育てに必要な資金全般で利用可能(レジャー資金などは除く)

〔取扱金融機関〕(18年3月現在)

七十七銀行、仙台銀行、石巻信用金庫、気仙沼信用金庫、仙南信用金庫、宮城第一信用金庫、石巻信用金庫、古川信用組合、仙北信用組合、古川信用組合

※ 詳しい融資内容やお手続きは、各取扱金融機関の窓口へお問い合わせください。

## 親の気持ちで結婚相手紹介



みやぎ青年婚活サポートセンターは、結婚を誠実に希望される20歳以上49歳までの独身の方を対象とした「お父さん・お母さん交流会」や、市町村に出向いての「結婚相談会」などにも取り組む。

「女性4人の結婚相談員が直接面談と紹介を行います。希望に沿った相手を紹介できる出会いの場です。交流会・ジョイフルふれあいパーティー」や、独身の子どもを持つ親を対象とした「お父さん・お母さん交流会」などにも取り組む。

「女性4人の結婚相談員が直接面談と紹介を行います。希望に沿った相手を紹介できる出会いの場です。交流会・ジョイフルふれあいパーティー」や、独身の子どもを持つ親を対象とした「お父さん・お母さん交流会」などにも取り組む。

## 幅広い使い道がお客さまから好評

杜の都信用金庫は、「みやぎつこ応援ローン」は、県が地元金融機関と連携して子育て世帯生活資金融資制度で、2017年4月、県内の10の銀行などで取り扱いは始めた。

杜の都信用金庫も県内28店舗で取り扱っている。同金庫が17年12月末までに融資した実績は17件。お客さま相談担当は「ご利用に合わせたお借入は30万円から40万円まで、返済は10年以内が中心です」と話す。

同金庫では、教育資金関連のローンとして、カードローン型や毎月返済型で4種類の商品を取りそろえている。これらの商品は、教育関連に限定した使い道があるが、みやぎつこ応援ローンは「出産や扶養する子どもの養育、教育に要する資金全般」を用途としており「子育てに必要な幅広い使い道が、お客さまから好評をいただいています」と浅野課長は強調する。

県が融資原資の一部を各金融機関に預託することにより、貸付利率を金融機関が提案する利率から2%引き下げていくことも大きな魅力。

「子育て支援の一環として『みやぎつこ応援ローン』を県と協働で取り組むことで、少しでも県内の子育て世帯の皆さまのお役に立てれば幸いです」と浅野課長は語る。

企画/宮城県広報課 お問い合わせ/子育て支援課 022(211)2528

# 県からのお知らせ

**家計調査へのご回答をお願いします**

県は、総務省からの委託により1年を通して家計調査を実施しています。家計調査は、家計簿などを記入していただくことで、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにする国の重要な統計調査です。提出された家計簿などの調査票は、統計法に基づいて厳重に管理され、秘密の保護には万全を期しています。

調査員がご家庭に伺った際には、大切な調査であることをご理解いただき、ご回答をお願いします。

◎ 県統計課 ☎022(211)2455

**宮城県職員採用ガイダンス ~東京会場~参加者募集**

● 内容/県の組織・仕事・採用試験などの概要説明、フリートークによる説明・質疑

● 対象/定員/宮城県職員採用試験を受験予定または検討している方(ただし、平成31年4月1日現在で満35歳までの方に限る)・各回30人(応募者多数の場合抽選)

● 日時/3月23日(金)午後1時~2時30分 ②午後3時~4時30分

● 場所/都道府県会館(東京都千代田区平河町2-6-3)

● 申込期間/3月5日(月)~12日(月)にホームページから電子申請

◎ 県人事委員会事務局総務課 ☎022(211)3761 http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/guidance.html

**宮城障害者職業能力開発校 短期課程 訓練生募集**

● 科名/オフィス実務科

● 内容/パソコンソフト(Word・Excel)の基礎と事務の基本的な作業を習得します。

● 対象/定員/身体障害者手帳所持者・10人

● 訓練期間/6月20日(水)~10月23日(火)

● 選考日/5月23日(水)

● 申込期間/3月1日(木)~5月11日(金)に最寄りのホームページから

◎ 宮城障害者職業能力開発校 ☎022(233)3124 FAX 022(233)3125

**国際交流事業参加青年募集**

世界各国の青年と交流し、相互理解を深め、広い国際的視野を身に付けられる内閣府主催の国際交流事業に参加しませんか?

● 内容/①東アジア青年の船事業(10月~12月)、②世界青年の船事業(1~3月)、③国際青年育成交流事業(9月)、④日中青年親善交流事業(9月)、⑤日韓青年親善交流事業(9月)、⑥地域課題対応人材育成事業(10月)

● 対象/4月1日現在18歳~30歳で帰国後も国際交流活動、青少年活動を活発に行える方

● 第1次選考試験/4月6日(金)

● 申し込み/3月20日(火)(必着)までに申込用紙と必要書類を郵送し下記へ

● 申込用紙/ホームページからダウンロード ☎9980-8570(住所記載不要)

◎ 県国際交流課 ☎022(211)2577 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/naikakuindex.html

**難病相談支援センター 相談・ピアカウンセリング**

看護士など専門の相談員や、患者会の相談員(ピアカウンセラー)が難病に関するさまざまな相談に応じています。当事者しか分からない悩みや問題について、同じ立場で一緒に考え、寄り添っていきます。※日曜相談方法は詳しくは、お問い合わせいただくホームページをご覧ください。

● 費用/無料

● 相談受付/◎宮城県難病相談支援センター ☎022(212)3351(受付時間 午前10時~午後5時) http://mpcarinomama.jp/index.html ◎ 県民病・感染症対策室 ☎022(211)2636

**若年性認知症相談窓口**

認知症は、65歳未満の働き盛り世代でも発症することがあります。「最近、もの忘れが原因で仕事のミスが増えている」「認知症と診断されたが、子どもが幼く家のローンもあり、どうしたらよいか分からない」と、若年性認知症に関するお悩みを抱える方のために、専門相談窓口を設置しました。相談は無料で、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

● 相談窓口/いずみ杜診療所RBA相談室 ☎022(346)7068(受付時間~金曜(祝日)を除く)午前9時~午後4時

◎ 県東部社会福祉課 ☎022(211)2552

**東日本大震災から7年 3月11日は「みやぎ鎮魂の日」です**

県は、東日本大震災で亡くなった方々に追悼の意を表し、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えるため、「みやぎ鎮魂の日」を平成25年に制定し、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めています。

県民の皆さんには「みやぎ鎮魂の日」を定めた趣旨をご理解いただき、追悼行事などへのご協力をお願いします。 ◎ 県消防課 ☎022(211)2377

**東日本大震災で亡くなった方々への追悼について**

東日本大震災が発生した午後2時46分に、亡くなった方々のご冥福を祈り、1分間の黙とうをお願いします。

● 日時/3月11日(日)午前9時~午後5時

● 場所/県庁(行政庁舎)、県大町会合同庁舎、県大崎合同庁舎(◎ 県民病・感染症対策室 ☎022(211)2454)

グラウンディング・21 センズ・イナムス・スーパー・アリーナ(◎ 宮城県スポーツ振興財団 ☎022(356)1122)

**市町の追悼式・慰霊祭**

気仙沼市総合体育館	☎0226(22)6600	多賀城市文化センター	☎022(368)1141
南三陸町総合体育館	☎0226(29)6451	仙台市宮城野区体育館	☎022(214)1145
石巻市河北総合センター	☎0225(95)1111	名取市文化会館	☎022(724)7140
女川町総合体育館	☎0225(54)3131	若沼市民会館	☎0223(22)1110
東松島市民体育館	☎0225(82)1111	岩手県中央公民館	☎0223(34)1111
塩釜市塩釜カヌーセンター	☎022(355)5007	山形県東日本大震災復興推進センター	☎0223(37)1111
七ヶ浜町七ヶ浜国際村	☎022(357)7437	利府町役場	☎022(767)2112

※ 利府町役場は桜花・記帳所のみ ※ 市町村では、これら以外の行事も開催される場合があります。